

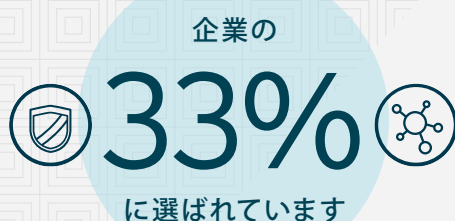


ハイブリッドクラウド戦略： 実装を成功させるための 4 つのステップ



効率的でコスト効果の高いテクノロジーと、リアルタイムでニーズに対処するためのコンピュート・ソリューションを求める企業の増加とともに、プライベートクラウド、パブリッククラウド、およびハイブリッドクラウド・コンピューティングの人気も高まっています。IT チームにとって、これは接続、統合、可搬性の問題、リソースオプティミゼーション、オーケストレーション、およびストレージオプションの急激な増加、およびクラウド環境のインストールと保守の複雑性の増大を意味しています。しかし、クラウドのデプロイを成功させるには、テクノロジーだけでは十分ではありません。考え抜かれた、戦略的で綿密なアプローチが不可欠です。

ハイブリッドクラウドとは、プライベートクラウドとパブリッククラウド環境を組み合わせたものであり



また 38% の企業がハイブリッドクラウド戦略の実装計画を準備しています。

出典：クラウド・テクノロジー調査、2018 年 5 月、Red Hat (n=1,057)

ハイブリッドクラウド環境を構築する際には、何をオンサイトに残し、何をクラウドに配置するか、そして、IT チームへの影響を考慮しながらこれらをどのようにしてシームレスに連携させるかを決定することが最優先事項としなくてはなりません。IT チームがハイブリッドクラウド戦略を策定するにあたっては、4 つの重要な柱について考慮する必要があります。

1 目標を決める

まず目標を決めます。そして、その目標を達成するために必要なステップを詳細に決めます。クラウド戦略を実行する前に、次のことを行ってください。

- 何を達成しようとしているのかを理解し、明確に表現する。
- 明確で具体的な主要業績評価指標 (KPI) と、成功の基準を定義する。
- 実装にあたり適用される可能性のあるあらゆるポリシーおよび規制を調査する。
- 支持者だけでなく反対派も含め、ステークホルダーを特定し、彼らに対して、懸念や潜在的な障害への対処方法を説明する。
- 自動化、管理、およびスケーラビリティに関する組織の目標を考慮しながら、実装上の課題を特定し、それらに対処するための方策を開始前に検討する。
- 既存のアプリケーションとワークロードのうち、どれを新しい環境に移行できるか、また移行すべきかを分析し、適切なサポートに必要な人員と予算を策定する。

2 十分な情報を集める

ハイブリッドクラウドでは、通常、コンテナ、コンテナ・オーケストレーション、一般的なオペレーティングシステム、ランタイム環境、柔軟なストレージ、汎用の開発フレームワークおよびツールなどのテクノロジーを使用します。これらは SaaS (Software-as-a-Service) のデプロイメントから、データ分析、機械学習、データベース機能のためのツールまで、あらゆる用途に使用されます。可搬性を念頭に置いてデザインされたハイブリッドクラウドでは、統合管理によってクラウドワークロードをオーケストレーションできますが、そのためには無数の接続と統合ポイントをしっかりと管理する必要があります。

3 戦略を構築する

クラウドの実装に関する実証済みのアプローチに従い、発見、デザイン、構築、概念実証、テスト、および移行のプロセスで見落としがないように、徹底的なチェックリストを作りましょう。次のことを行ってください。

- 開始前に、考えられるすべての懸念、問題、および障害について検討し、対処方法を決めておく。
- 成功したユースケースを調査し、アーキテクチャを会社のビジネスニーズと運用環境に合わせる。

4 影響に対応できる態勢を整える

クラウドの実装は、ワークフロー、自動化、管理ポリシーなどに影響を与えます。次のことを行ってください。

- 会社の運用チームと連携体制を築き、実装の始めから最後まで協力しながら進める。運用チームの準備が整っているほど、移行はスムーズです。
- コミュニケーションと文書化を入念に行い、プロジェクト全体を通して、すべてのステークホルダーに情報を提供し、方向性を揃える。

オープンソースのコードとソフトウェアは、さまざまな環境であらゆる種類のビジネス・アプリケーションを提供するクラウド・プラットフォームの基盤となります。Linux® は、クラウド・インフラストラクチャの中心に据えられることが多く、それには十分な理由があります。企業は、オープンで拡張可能なアーキテクチャを採用することで、ベンダーロックインやプロプライエタリーの実装を回避し、ビジネスニーズや優先順位の変化に対して柔軟に対応できるからです。さらに、アプリケーション開発者は、俊敏性を高めるために、さまざまなクラウド環境でマイクロサービスとして動作する Linux コンテナに、アプリケーション・コンポーネントをパッケージ化するようになってきています。

ハイブリッドクラウド戦略と
オープンソースのメリットの詳細については、
無料の e ブックをご覧ください。

**無料の E ブックをダウンロード：
誰にでもわかるハイブリッドクラウド戦略**

ご検討にあたっては、Red Hat の
ハイブリッドクラウドのエキスパートに
ご相談ください。

**ハイブリッドクラウドのエキスパートへの
お問い合わせはこちら**